

Page 8 - Chapter 0

Sentence 1

他们从办公室里爬出来，那些办公室门上的磁性白板用字母拼出了这样的标牌：占领区 坦克中的骨头、教育人民委员部、愤怒的用户、杜罗夫博物馆等等。

彼らはマグネットボードのある部屋から這い出てきた。そのボードには「スクワット・戦車の中の骨」「ナルコムプロスヴェート」「怒れるユーザー」「ドゥーロフ博物館」などの看板が文字タイルで綴られていた。

Sentence 2

大多数人穿着恤，用腰带束在高腰处，有些人则骄傲地把衬衫扣到最上面的扣子。

やって来た者のほとんどはシャツをベルトで腰より上に留めており、誇らしげにシャツの一番上のボタンまで留めている者もいた。

Sentence 3

这些奇怪的人看起来像是从保罗·格雷厄姆的文章《为什么书呆子不受欢迎》里走出来的一群书呆子，他们从物理奥林匹克竞赛中逃出来，在一个荒岛上建立了自己的国家。

奇妙な人々は、ポール・グレアムのエッセイ『なぜナードは人気がないのか』から飛び出してきたようなオタク集団のようだった。彼らは物理オリンピックから逃げ出し、無人島で自分たちの国を建てたのだ。

Sentence 4

书呆子们围成一圈，仔细聆听谈判的细节。有人从榨橙汁的机器里倒果汁。有人忘了自己来干什么，讨论起 的功能来。

ナードたちは輪になって、交渉の詳細に聞き入っていた。誰かがオレンジを絞る機械からジュースを注いでいた。誰かは何をしに来たか忘れて、 の機能について議論していた。

Sentence 5

有一个精彩的时刻，首席程序员转述道。他对我们说：你们想要 ，但我们最多只能给 。然后帕维尔说： ！书呆子们都笑了。

「すごい瞬間があったんだ」とリードプログラマーが語った。「相手が言うんだ『あなたたちは を望んでいるが、 以上は出せない』と。するとパーヴェルが『 だ！』とね」ナードたちは微笑んだ。

Sentence 6

老员工们还记得领袖如何改变自己，学会了礼貌地无礼。

古参たちは、リーダーがどのように自分を変え、礼儀正しく失礼になることを学んだかを覚えていた。

Sentence 7

就应该这样戏弄商人，有人说。我们在做关乎未来的重要事情，何必在什么百分比上浪费时间。

「商人はそうやってからかうべきなんだ」と誰かが言った。「我々は未来にとって重要なことをやっているんだ、なぜパーセンテージごときに時間を無駄にする？」

Sentence 8

透明的立场效果很好，谈判者补充道。是的，当然，领袖点头说，当你不说谎时，别人就无法操纵你。

「透明な姿勢はうまくいく」と交渉担当者が付け加えた。「そうだ、もちろん」とリーダーが頷いた。「嘘をつかなければ、操られることはない」

Translator Notes

- Page 8 describes the quirky VKontakte office culture
- IE Squat (■■■■■ ■■) - likely reference to Internet Explorer testing/support team
- Narkomprosvet (■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■) - Soviet-era Education Ministry, ironic office name
- Paul Graham reference - Y Combinator founder, essay on nerd culture
- C++ discussion - showing programmers prioritize technical talk over business
- Durov's philosophy: 'when you don't lie, you can't be manipulated' - key quote